

Title	ケータイ講習会を用いた地域社会への知識伝達手法
Author(s)	伊藤, 卓朗; 及川, 博道; 杉村, 武昭; 岩崎, 匡寿; 中川, 義通; 西村, 邦裕; 西村, 由希子
Citation	年次学術大会講演要旨集, 23: 268-269
Issue Date	2008-10-12
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/7551
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

ケータイ講習会を用いた地域社会への知識伝達手法

○ 伊藤卓朗、及川博道、杉村武昭、岩崎匡寿、中川義通（NPO 法人 知的財産研究推進機構）、
西村邦裕、西村由希子（東京大学）

1. 研究背景

国内の携帯電話利用率（6 歳以上）は 71%を超え¹、携帯電話は男女を問わず幅広い世代に普及したといえる。初期の携帯電話は、文字通り屋外へ持ち運べる電話端末であった。しかし、現在では、デジタルカメラ、インターネット接続、全地球測位システム（GPS）、電子マネー、ワンセグテレビなど、多種多様な機能が付加され、携帯電話は高度な多機能パーソナル・デバイス（以下、「ケータイ」と呼ぶ）となった。

ケータイユーザは、個々の機能を利用するための専用機器を買い集めるよりも安価で手軽に、それらの機能を内包するケータイを手に入れる事が可能になった。しかし同時に、ユーザが不要だと思ったとしても、多くの機能が搭載されたケータイを購入せざるを得ない状況にある。そのため、ケータイ利用度の異なるユーザ間において、付加機能への理解やケータイに対する期待などにギャップが生じた^{2,3,4,5,6}。例えば、ケータイに搭載されるほとんどの機能を使いこなすユーザは、各機能について肯定的にとらえ、利便性を実感していた^{7,8,9}のに対し、利用している機能が少ないユーザにとっては、安全性への不安が付加機能を利用しない要因の一つであった^{2,7}。実際に、知識の乏しいユーザは、ケータイの機能が悪用され¹⁰、犯罪やトラブルへ巻き込まれる事例が増えている。

これらの事から、ケータイにおける問題点とその対策をユーザに伝えることにより、多くのユーザがケータイを安心して便利に使用できるとの仮説を立てた。そして、ケータイをより使いこなしたいと考えているユーザに対して、クイズを通して必要な知識を伝えるとともに、実習形式で参加者が興味を持つ機能を利用体験する講習会（ケータイ講習会）を開催し、ケータイユーザへの知識伝達手法としてこの講習会形式が有効である事を明らかにした¹¹。さらに、ケータイ講習会参加者に対してスキルに応じた実習を提案するためのチェックシートの開発、全国規模のアンケートをもとにした講習内容の見直しなど、ケータイ講習会を改良してきた¹²。

本報告では、特徴の異なる複数地域において、それぞれの地域に適合した手法でケータイ講習会を実装したので、その事例を報告し、地域連携モデルについて考察する。

2. ケータイ講習会について

2006 年 2 月と 5 月に宮城県南三陸町で行ったケータイ講習会¹¹が参加者から好評であったことから、これをもとに問題点の改善、および、知識伝達手法の効率化を行ってきた。

講習会は、目的説明（10 分間）、知識補完のためのケータイに関するクイズ（20 分間）、実際に参加者の携帯電話を用いた実習（30 分間）の 3 つの部分から構成されている。さらに、希望者には 30 分間の追加講習を行っている。当初の実習課題は、ケータイ講習会開催地でのアンケート調査をもとに講習内容を決定していたが、地域を絞らずにインターネット上で実施したアンケート調査とその分析結果をもとに、4 つの講習項目を再設定した。基本機能の利用（初・中級編）、web 機能利用（初・中級編）である。これにより、日本全国で地域を選ばずに同じコンテンツを利用して講習会を開催できるようになった。また、ケータイ講習会参加者のスキルを簡便に調査するために携帯電話利用チェックシートを作成した。これにより、参加者のスキルに応じた実習項目への円滑な誘導が可能になった。そして、改良後のケータイ講習会を複数地域で開催しており、参加者からは高い評価を得ることができた。

3. 地域社会への知識伝達手法について

ケータイ講習会を全国に広めるために、2 つの取り組みを行ってきた。1 つは、ケータイ講習会を地域に根ざした活動にするために、地域内で知識伝達を繰り返し行うための仕組みづくりである。これま

では各地域からの要望に応じて、筆者ら研究者が講習会の講師を行ってきた。しかし、研究者の人数により開催回数が制限されていた。また、地域からの要望や開催形式への細やかな対応が難しかった。そこで、地域内にキーパーソンをつくることで、キーパーソンをハブにして地域内で継続的に知識伝達を行う「地域連携モデル」を考案した。具体的には、地域のキーパーソン候補の個人や団体に対してケータイ講習会のインストラクター育成研修を行い、ケータイ講習会の講師や運営に必要なノウハウを教えている。インストラクター制度は、4つのレベルに分かれており、各レベルの研修を受け、その後、決められた内容を実際の講習会で実践する事により認定される。これまでに、宮城県南三陸町では地域の高校生、青森県青森市では商店街や地域NPOの人々、青森県弘前市では大学のボランティアサークルのメンバーに、それぞれインストラクター育成研修を行った。いずれの地域でも、研修後の実践を終えて、この制度の認定を受けたキーパーソンが誕生しており、地域内での自立した継続的な活動に向けた取り組みを続けている。

2つ目は、ケータイ講習会の主旨に賛同してくれた人や団体が、すぐにケータイ講習会を始められるように、ケータイ講習会とインストラクター育成研修のコンテンツ、知識保管のためのムービー、運営資料などをパッケージ化した。これにより、ケータイ講習会を開催するためのノウハウを明示し、インストラクター認定を受けた後に、スムーズにケータイ講習会を開催することが可能になった。

今後、さらに対象地域を広げ、継続的に本プログラムを提供し、本アプローチの有効性を確認していく予定である。

ケータイは、今後、緊急時や災害時に大きな役割を果たすことができると予測されている。そのためには、本研究で目指したように、基本的な知識情報は全国的に統合しつつも、地域の日線を意識して、地域の人々とともに、さまざまな立場のユーザに対してきめ細やかに対応する必要がある。これからは、事業者や自治体だけでなく、ボランティアやNPOの存在も知識伝達母体として重要になるであろう。

-
- [1] 総務省 情報通信政策局: 平成 18 年度通信利用動向調査報告書 世帯編, 情報通信統計データベース, pp.1-22 (2007).
 - [2] 及川, 西村, 杉村, 伊藤, 岩崎, 玉井, 西村: 農漁村部のケータイ弱者の実態と情報弱者対策, 研究・技術計画学会, pp.232-235 (2006).
 - [3] 西村, 及川, 杉村, 玉井, 西村, 伊藤, 岩崎: 携帯電話新機能に対する利用実態調査 -ユーザの利用率と強者-, 研究・技術計画学会, pp.240-243 (2006).
 - [4] 杉村, 西村, 及川, 玉井, 西村, 岩崎, 伊藤, 米川: 携帯電話利用スキルの分析によるユーザーの携帯電話利用形態に関する研究, 研究・技術計画学会, pp.1065-1068 (2007).
 - [5] 西村, 伊藤, 及川, 米川, 西村, 岩崎, 玉井, 杉村: ケータイ利用形態のユーザ間ギャップに関する研究, 研究・技術計画学会, pp.1077-1080 (2007).
 - [6] Nishimura, Y., et al.: Research on the gap between skillful/non skillful users of a cellular phone, and anticipation of the risks arising out of lack of information in Japan, PICMET2008 (2008)
 - [7] Nishimura, Y., et al.: Research on the gap between skillful/non skillful users of a cellular phone, and anticipation of the risks arising out of lack of information, IAMOT2007 (2007).
 - [8] 米川, 杉村, 西村, 及川, 玉井, 西村, 岩崎, 伊藤: 携帯電話利用リードユーザの動向と携帯電話が与える影響, 研究・技術計画学会, pp.1069-1072 (2007).
 - [9] Nishimura, Y., et al.: Japanese lead user's cellular phone usage - Its trends and impact on their lives, IADIS International Conference e-Society (2008).
 - [10] 伊藤, 及川, 西村, 杉村, 玉井, 岩崎, 西村: 先端事例をもとにした携帯電話犯罪の抑制, 研究・技術計画学会, pp.248-251 (2006).
 - [11] 杉村, 西村, 及川, 伊藤, 玉井, 岩崎, 西村: ケータイ弱者を対象とした知識伝達プログラムの実践, 研究・技術計画学会, pp.244-247 (2006).
 - [12] 伊藤, 及川, 杉村, 米川, 岩崎, 西村, 玉井, 西村: ユーザスキルに対応したケータイ知識伝達手法, モバイル 08, pp.129-200 (2008)